

令和六年度学校文集「令和七年一月」

ひらやま 十三号



【二期終業式児童代表発表】

二学期がんばったこと

一年二組 黒木 深結

わたしは、二学期にがんばったことは、たくさんあります。きゆうしよくとうばんがはじまりました。きゆうしよくとうばんでは、ぎゆうにゆうをはこぶしごとをがんばりました。たいいくでなわとびをしました。とべなかつたうしろとびが、ひるやすみにれんしゅうしたり、四年生におしえてもらったりして、とべるようになりました。べんきょうでは、かんがえてはつぽうするのがとくいです。にかてなとけいや力タカナも、おうちでがんばっています。三学期は、しせいよくはなしがきけるようになります。

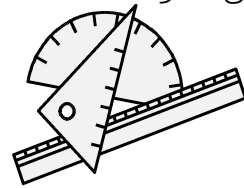


定規

六年一組 西村 奏真

自分だけじゃきれいな線は書けずとも支える物があるのならきれいな線を書けるはず

自分だけじゃゆがんだ道を進むけど支える人がいるのならきれいな道を進むはず



【タリデイリー「光の子」】

令和六年十二月十七日

心をゆたかにする

六年三組 猪俣 咲希

わたしは今気になっているニュースは、「物価高値」です。理由は、野菜など、野菜などを、買うときにとても、値だんが高

【短歌】

三年二組 佐藤 叶羽

オレンジに
そまる夕日を
母と見て
きれいだねと
ほほえむわたし



【宮崎こども新聞「学年花壇」】

令和六年十二月十四日

お母さんやお父さんが、とても働かないといけません、これから10



年後、20年後の野菜やおかし、油などが高くなり、買う人が減っていくと思うからです。これからの日本を、わたしたちが、商品を買うようにしたりし、みんなが、「日本は良いな」と思えるようにするために、これからの日本を変え、じゆうじつした、日本にしたいです。みんなの心をゆたかにしたいです。

【宮崎日日新聞「若い目」】

令和六年十二月十九日

あかし

六年三組 酒井 脩月

毎日毎日机と向き合う短いえんぴつはがんばって勉強したあかし

ひたすら字を書くときは手につる手に字がうつるのは勉強したあかし

テストで百点取ったそれはがんばって勉強したあかし

【宮崎こども新聞「学園詩壇」】

令和六年十二月二十一日

戦争をなくす行動

六年一組 白川 陽莉



今日は平和学習で戦争、知覧、特攻について知りました。実際に戦争を体験した方と、戦争

にくわしい方の二人からお話を聞きました。初めて聞いた難しい言葉や、名前だけ知っていたこともくわしく分かりやすく教えてくださいました。私は戦争のことをたくさん聞き、「なんで話し合いでなく、戦いをするのだらう。戦争は」と思いました。すると、お話してくださった人は「人間はみんな周りの人と協力する本能が」ともとある。戦争をなくすには、人間の考え方を改めていかないと、人間の心に残り、その言葉が私の心にすく残り、



だから、これから人と助け合い協力していくのは、戦争をなくす一つの行動だと思いました。すぐに戦争をなくすのは難しいけれど、一人一人が助け合い協力することはいい方向に向かっていく。変わることはないかと思いました。

【宮崎日日新聞「若い目」】

令和六年十二月二十七日

